

牛乳の日・牛乳月間の取り組みについて

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。

Jミルクは、2024年の牛乳の日・牛乳月間に関して、主に下記の取り組みを行う予定です。

今年も、全国の酪農乳業関係者やミルクファンらが SNS を通して感謝の思いを伝え合い、絆を深めたり広げたりすることに重点を置き「ミルクのバトンリレー」を実施します。

また、牛乳・乳製品の価値を再認識してもらおうと、子どもの栄養バランスを良好に保つ上で牛乳や乳製品が果たしている役割や、日々の食事に取り入れてもらうための情報などについても啓発・PR につながる情報発信を行っていきます。



World Milk Day 6.1
JAPAN

国内外のさまざまな情勢変化から、酪農乳業界は引き続き困難な状況に直面していますが、牛乳・乳製品に関わるすべての人の思いがつながり、一つになることを目指します。

記

① ミルクでつながる「ありがとう」の輪（#ミルクのバトンリレー）

酪農乳業や牛乳・乳製品に関する感謝の思いを SNS で伝え合う企画。酪農家や農協、乳業メーカー、牛乳販売店、ミルクファンなどが、「#ミルクのバトンリレー」を付けて写真や動画などを投稿し合うものです。（投稿期間 2024年6月1日～6月30日）

② 家庭での理解や飲用の促進に向けた取り組み

学校が休みで給食のない日に、子どもたちに家庭での飲用習慣をつけてもらおうと進める啓発活動「土日ミルク」の各種ツールや、子どもたちに大人気の「うんこドリル」とのコラボで制作した「カラダと牛乳」冊子とアプリの活用を引き続き進めます。

③ 「愛してミルク？」ツール無償提供

「愛してミルク？」は牛乳の日・牛乳月間のキャッチフレーズ・ロゴマークです。ポスター、リーフレット、ロゴマーク、サウンドロゴ、動画などや、イベントなどで使えるデータについて、酪農乳業関係者を中心に無償で提供します（在庫限り）。

④ 国際組織との連携

世界の酪農乳業関係組織で構成するグローバル・デーリー・プラットフォーム(GDP)が、SNS 投稿な



どで 6 月 1 日の「世界牛乳の日(World Milk Day)」を盛り上げます。Jミルクもこれと連携し、同日周辺の SNS 投稿には二つのハッシュタグ「#WorldMilkDay」「#EnjoyDairy」の追加を呼び掛け、世界の酪農乳業関係者とつながることを目指します。

※上記の詳細は、Jミルクの牛乳の日・牛乳月間のページに掲載しています。

<https://www.j-milk.jp/milkday/index.html>

※Jミルクと農林水産省が 2022 年 6 月に立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」のメンバーによる「牛乳の日・牛乳月間」の活動などの予定(5 月 24 日時点の情報に基づいています)について、次のページに掲載しています。



<https://www.j-milk.jp/about/2024smile-pj activity.html>

牛乳の日・牛乳月間とは

酪農の盛んな地域では、新しい草が伸びる頃から放牧を始め、冬を牛舎で過ごした牛たちは野に放たれ躍り上がって喜び、思う存分青草を食みます。生命力あふれるこの時期、ミルク、これをもたらす命や自然、働く人々に感謝するお祭りやお祝いが世界各地で行われます。このことから 2001 年に国連食糧農業機関 (FAO) が、牛乳の重要性を認識してもらうとともに酪農乳業への理解を広めようと、6 月 1 日を「世界牛乳の日(World Milk Day)」とすることを提唱しました。日本では日本酪農乳業協会(現・Jミルク)が 2007 年に 6 月 1 日を「牛乳の日」、6 月を「牛乳月間」と決めました。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

牛乳の日・牛乳月間プロジェクトチーム

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5 階

電話:03-5577-7494

メール:milkday@j-milk.jp